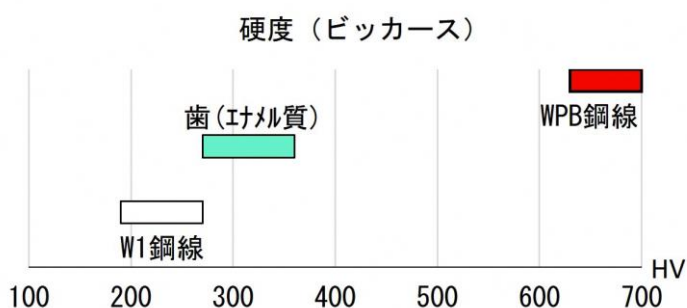


防護柵用ネットの強度問題と改善策

研究課題名：新植地で食害するノウサギの対策に関する研究（令和3～5年）

ネット撚糸に超高分子量ポリエチレン繊維、軟質ステンレス鋼線を混ぜても、動物の切断に対して強度不足でした。硬質ステンレス鋼線は歯のエナメル質より硬く、切断強度も高いので、新植地の防護柵用ネットの材質として有望です。

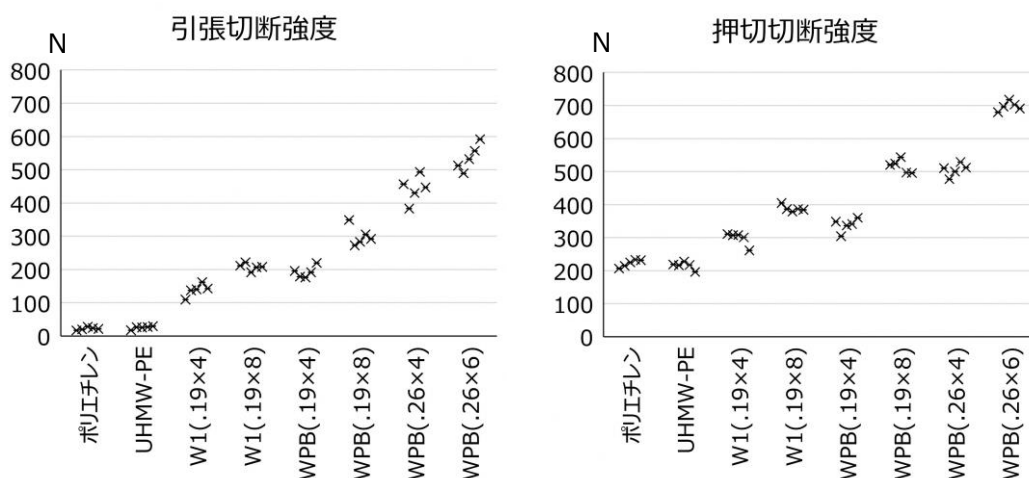
＜ステンレス鋼線と歯のエナメル質の硬さ＞



W1鋼線入ネットの切断

- ・ 軟質ステンレス（W1）鋼線は、歯のエナメル質よりも柔らかいため、かみ切られてしまいます。

＜材質の違いによるネットの切断強度＞



- ・ 硬質ステンレス（WPB）鋼線は硬く、混撚したネットの切断強度も高くなりました。
- ・ 超高分子量ポリエチレン（UHMW-PE）を混撚した効果は、認められませんでした。

【静岡県農林技術研究所（森林・林業研究センター）森林育成科】

TEL : 053-583-3121 e-mail : FFPRI@pref.shizuoka.lg.jp